

2019年度 事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			現在、スペースは適切ですが、狭さを感じる時は、和室やホールなども使いながら活動のスペースを確保しています。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			配置数は適切です。曜日によってはお迎え等でスタッフが少なくなる時間がありますが、工夫して対応しています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			スタッフ全員で計画を立て実践しています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			年に一度、アンケートを実施しています。少しでも保護者様の意向に沿う事ができるよう、その都度業務改善を行っています。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			事業所内への掲示、ホームページ等で公開しています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		今後実施し、業務改善していきます。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			OJTとして、毎月1回研修を行っています。OFFJTにも参加の機会を多くし、職員の質の向上に取り組んでいます。
適	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			送迎時にはご家族へ子どもの報告を行いながら、適切なアセスメントを行い、その状況や変化を計画書に反映しています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか			○	アセスメントツールを使用していないので、今後取り入れていきます。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			年間計画を作成し、季節に合わせた行事や活動を提供しています。

適切な支援の提供	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			長期休みに外出行事を行う等、支援内容を工夫して行っています。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			その日の流れや注意点等の打ち合わせを行い、支援を行っています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			支援終了後に、変わった点や、特に気になった事がないか話し合っています。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			常にその日の子どもの状態や支援の内容を記録し、個別支援計画に沿った支援ができていないか確認し改善しています。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか		○		できていない所もあるので、今後改善していきます。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			会議には児童発達支援管理責任者が出席しています。
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			お迎えに行った際、先生と情報の共有を行ったり、年間計画や行事予定を確認しています。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	医療ケアが必要な子どもの受け入れがありません。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○	保育所等との情報共有は行っていますが、他の関係機関とは情報を共有し、支援に活かしています。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			子どもに合った支援が継続するよう、支援内容等の情報を提供しています。
㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			研修がある時は、できる限り参加できるようにしています。	

者との連携	②6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	今後障がいのない子供との交流や活動する場を作っていきます。
	②7	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			
	②8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			その日の様子などきちんと伝える事により、家族からの情報も多く聞く事ができ、共有する事ができています。
	②9	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	今後、支援を行っていきます。
保護者への説明責任等	③0	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	③1	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			保護者から相談がある時は、助言や支援を行っています。
	③2	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	今後、行っていきます。
	③3	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			事業所内に苦情受付担当者、苦情解決責任者を設置し、スムーズな対応と解決を心掛けています。
	③4	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			
	③5	個人情報に十分注意しているか	○			
	③6	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	③7	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	年に一度、近隣施設とお祭りを実施し参加して頂き、日頃の感謝を伝えています。
	③8	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			光の家全体としてのマニュアルを作成しています。
	③9	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			光の家の避難訓練を行っています。

非常時等の対応	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		法人として実施している研修に参加しています。
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		転落防止等の身体拘束を行う場合は、家族に説明し了解を頂き、放課後等デイサービス計画に記載しています。
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○	食物アレルギーの子どもがいないので今は対応していません。
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		ヒヤリハット報告書をその都度提出し、その会議録と共に綴っています。

令和2年1月31日